

# 外国語科英語学習指導案

学 級：3年3組 27人  
場 所：3年3組 教室  
指 導 者：教諭 有馬 倫子

## 1 単元名 NEW HORIZON English Course 3 Unit 5 Electronic Dictionaries —For or Against

## 2 単元について

### (1) 教材観

本単元は、英語学習には欠かせない辞書の活用において、電子辞書の使用の是非を議論することを題材としている。中学生が電子辞書を使用することについて、自分なりの意見や考えをもち、それを表現しようとする態度や、的確に表現できる能力を育てることをねらいとしている。電子辞書や紙の辞書の利便性や特徴などについて考えさせられる内容であることから、生徒がその使用の是非について自分の考えをまとめ、友人と意見を交換することに適している題材である。

言語材料としては、「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」及び「間接疑問文」が扱われている。「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」については、英語特有の後置修飾という文構造にも慣れさせ、語順や修飾関係などにおける日本語との違いに留意して指導したい。また、題材に関連し、身近な題材について賛否やその理由を述べるができるよう2年時に学習した *I think that ~*, *I don't think that ~* のような賛否を表す表現等への習熟を図りたい。本単元の題材や言語材料から英語で身近なことを英語で表現することに興味をもっている生徒たちにとって、コミュニケーションへの興味・関心を高めるのに適した題材であると考えられる。

### (2) 生徒観

本学級は、明るく活動的な生徒が多く、互いに助け合いながら学習することのできる雰囲気がある。「話すこと」「書くこと」に対する生徒の意欲の向上が見られるが、生徒の知識や各技能の定着には個人差があり、英語による表現活動に対して苦手意識をもつ生徒もいる。そのため、表現活動の際には生徒一人一人の必要に応じた指導を行いながら、ペア活動やグループ活動等を積極的に取り入れ、互いに高め合えるような学習形態を工夫するようにしている。

NRTの中領域分析によると、「質問や依頼に適切に応じること」、「適切な表現を用いて書くこと」においては全国平均をやや下回っており、「表現」の中でも相手の意向に応じることや、まとまりのある文を適切な語句や表現を用いて書くことを苦手としていることが分かる。このため、自分の考えを表現する上で基盤となる語彙・文構造の定着を図る手だてとして、下学年で学んだ文法の中から活用度の高い事項を選び、授業の導入にペアで練習する帯活動Q and Aの活動などを行ってきた。学んだことを繰り返し活用する場を設けることで、学んだ語彙や文構造を定着させるよう取り組んできている。本単元の学習においては、帯活動等を通して、身近な話題について、自分の立場を明確にし、理由付けをしながら賛否の意見を述べるために必要となる基礎的・基本的な表現の定着を図らせたい。

### (3) 指導観

題材の特性を生かし、生徒にとって身近な話題「電子辞書使用の是非」等について賛否やその理由を述べるができるようになるための学習を展開したい。そのために、次の2点を指導の重点と考えた。第1に、教科書本文を読んで理解したことについて自分の考えを書いたり、話したりする4技能を統合的に活用する活動の設定である。具体的には、辞書活用について、自分の意見を書く際、教科書本文の英文をその材料としてとらえ、選択し表現する活動である。第2に、賛否を述べるために必要な基礎的・基本的な語彙や表現方法を身に付けさせる活動の設定である。具体的には、戸惑いなく賛否の意見を述べるができるようになるために *Opinion Making Time* を設定して、単元を通して段階的に英文を書くことができるようになるよう指導する。単元を通じた計画的な指導を行う中で、学習形態を工夫しながら、自分の意見を英語で適切に表現する練習を重ね、自分の意見を整理し英語でわかりやすく表現す

る方法を学ばせたい。

単元全般の指導の流れとしては、次のように考える。新出の文法事項や自分の意見を表明する表現形式を定着させるために、第1時から第6時までは、教科書を活用して言語の使用場面と言語の働きに注目した表現活動を行わせる。第7時から第10時までは、第1時から第6時までの内容をもとに、身近な話題について賛否やその理由を述べるための表現活動を行わせる。言語活動においては、ICTを効果的に活用し、ペアやグループでの活動を取り入れながら、自分の学習状況について振り返る場面も設定した。このことにより、生徒同士がお互いに関わり合いながら、意見交換等を通して、見通しをもって学習をすすめられるようにしてきている。

### 3 単元の指導目標

- 間違ふことを恐れず、積極的に自分の考えなどを話したり書いたりしようとする態度を育てる。
- 電子辞書使用の是非について、自分なりの意見や考えを簡単な英語を用いて表現させる。
- 電子辞書使用の是非に関する英文を聞いたり読んだりして、内容を理解させる。
- 現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法、間接疑問文の意味・用法を理解させ、それらの表現を身に付けさせるとともに、意見を述べる表現形式について確認させる。

◎ 本単元の主たる表現活動における判断基準

「Junior high school students should use printed dictionaries when they study. に対する意見」

「おおむね満足できる」(B)		「十分満足できる」(A)
<u>I think so, too. These are my reasons. First, we can get a lot of information by reading dictionaries. Second, we have to choose the right meaning. It's easier to find it in printed dictionaries. So, junior high school students should use printed dictionaries when they study.</u>	賛成	<u>I think so, too. I have three reasons. First, we can get a lot of information by reading dictionaries. Second, we have to choose the right meaning. It's easier to find it in printed dictionaries because we can see more information at one time. Third, we can use printed dictionaries at any time because they don't need batteries. So, junior high school students should use printed dictionaries when they study.</u>
<u>I don't think so. These are my reasons. First, electronic dictionaries are lighter and easier to carry. Second, I think that finding words in printed dictionaries takes time. In my opinion, junior high school students should not use printed dictionaries when they study.</u>	反対	<u>I don't think so. I have two reasons. First, electronic dictionaries are lighter and easier to carry. Second, I think that finding words in printed dictionaries takes time. We can save time if we use electronic dictionaries. In my opinion, junior high school students should not use printed dictionaries when they study.</u>
賛成・反対の立場、その理由付け、自分の意見や考えを、理解した教科書の英文を用いて表現している。		(B)の定型表現以外に自らの意見や考えを加え、豊かな内容になっている。
下線部は、意見を表現する際の表現形式として、生徒に使わせたい表現である。		

### 4 単元の指導計画

時	指導の流れ	言語活動(☆)・ICT活用(◎)の工夫
1	<p><b>Starting Out</b></p> <p>【目標】身近なものや人を紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動 I (Q &amp; A)</li> <li>・ 現在分詞及び過去分詞による後置修飾の形・意味・用法の理解と練習</li> <li>・ 現在分詞及び過去分詞による後置修飾を用いた表現活動</li> </ul>	<p>☆ Q &amp; Aを用いて基本的な質問とその応答を定着させる。</p> <p>☆ 学んだ文構造の形・意味・用法を理解し、与えられた条件で身近なことを表現することができる。</p> <p>◎ 題材に関する映像や資料の提示を通して、内容を理解させる。</p>

時	指導の流れ	言語活動(☆)・ICT活用(◎)の工夫
2	<p><b>Starting Out</b></p> <p>【目標】紙の辞書の使い方について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動Ⅰ・Ⅱ (Opinion Making Time)</li> <li>・ 本文の内容理解と音読練習</li> <li>・ 内容理解に基づく表現活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ Q&amp;A</li> <li>☆ 帯活動Ⅱで紙の辞書についての考えを表現させる。</li> <li>◎ 紙の辞書に関する映像や資料の提示を通して、これまでの紙の辞書の使用方法を想起させる。</li> </ul>
3	<p><b>Dialog</b></p> <p>【目標】自分の知っていること、知らないことを上手に伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動Ⅰ</li> <li>・ 間接疑問文の形・意味・用法の理解</li> <li>・ 間接疑問文を用いた表現活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ Q&amp;A</li> <li>☆ 間接疑問文の形・意味・用法を理解し、それらを用いて自分の考えを表現することができる。</li> <li>◎ 題材に関する映像や資料の提示を通して、内容を理解させる。</li> </ul>
4	<p><b>Dialog</b></p> <p>【目標】電子辞書の使い方について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動Ⅰ・Ⅱ</li> <li>・ 本文の内容理解と音読練習</li> <li>・ 内容理解に基づく表現活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ Q&amp;A</li> <li>☆ 帯活動Ⅱで電子辞書についての考えを表現させる。</li> <li>◎ 電子辞書に関する映像や資料の提示を通して内容を理解させ、音読練習をさせる。</li> </ul>
5	<p><b>Reading for Communication1</b></p> <p>【目標】電子辞書の利便性について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動Ⅰ・Ⅱ</li> <li>・ 本文の内容理解</li> <li>・ 本文の内容に関する英問英答</li> <li>・ 電子辞書の利便性についての自分の意見をまとめ、英語で表現する活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ Q&amp;A</li> <li>☆ 帯活動Ⅱで電子辞書の利便性について表現させる。</li> <li>◎ インターネットの掲示板での意見交換の様子の提示、デジタル教科書の活用を通して、内容を理解させる。</li> </ul>
6	<p><b>Reading for Communication2</b></p> <p>【目標】紙の辞書の利便性について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動Ⅰ・Ⅱ</li> <li>・ 本文の内容理解</li> <li>・ 本文の内容に関する英問英答</li> <li>・ 紙の辞書の利便性についての自分の意見をまとめ、英語で表現する活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ Q&amp;A</li> <li>☆ 帯活動Ⅱで紙の辞書の利便性について表現させる。</li> <li>◎ インターネットの掲示板での意見交換の様子の提示、デジタル教科書の活用を通して、内容を理解させる。</li> </ul>
7 (本時)	<p><b>発展的な表現活動1</b></p> <p>【目標】<u>Junior high school students should use printed dictionaries when they study.</u> に対する自分の考えをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動Ⅰ</li> <li>・ 課全体の内容理解</li> <li>・ 課全体の内容をふまえた表現活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ Q&amp;A</li> <li>☆ これまでの帯活動Ⅱで使った表現をもとに、自分の意見や考えを表現させる。</li> <li>☆ 課全体の内容をふまえ、自分の意見を英文でまとめた上で発表させる。</li> <li>◎ 題材に関する画像や資料の提示をし、内容を理解させる。</li> <li>◎ 生徒が作成した英文を書画カメラで提示する。</li> </ul>
8	<p><b>発展的な表現活動2</b></p> <p>【目標】<u>Junior high school students should use printed dictionaries when they study.</u> に対する考えを伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯活動Ⅰ</li> <li>・ 課全体の内容理解</li> <li>・ 課全体の内容をふまえた表現活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ Q&amp;A</li> <li>☆ 前時にまとめた自分の意見をグループで伝え合い、友だちの意見を理解し多様な考えがあることを確認させる。</li> <li>◎ 生徒が作成した英文を書画カメラで提示する。</li> </ul>

時	指導の流れ	言語活動(☆)・ICT活用(◎)の工夫
9	<u>発展的な表現活動3</u> <b>【目標】 <u>Young people may sit in priority seats.</u> に対する多様な意見を理解しよう。</b> ・ 帯活動I ・ 身近な題材についての英語での議論を、聞き取りのポイントをおさえて理解する活動	☆ Q & A ☆ 前時まで学習した内容をふまえ、題材に関する賛成・反対の意見を、要点をおさえて理解させる。 ◎ デジタル教科書の活用を通して、内容を理解させる。
10	<u>単元のまとめ</u> <b>【目標】 <u>Unit 5</u> のまとめをしよう。</b> ・ 帯活動I ・ 新出語句、重要表現の確認・復習 ・ 本文の内容の確認・復習 ・ 単元テストの実施	☆ Q & A ☆ 前時まで学習した内容をふまえ、題材に関する賛成・反対の意見を述べる際の表現方法について復習する。

## 5 本時の実際 (7 / 10)

### (1) 題材名 Unit 5 Electronic Dictionaries —For or Against

#### (2) 学習目標

- 間違ふことを恐れず、自分なりの意見や考えを積極的に書こうとすることができる。
- 課全体の内容をふまえて、電子辞書の使用の是非に関する自分の考えを適切な語や表現を用いて、書いて表現することができる。
- 電子辞書や紙の辞書の利点などについて、自分の考えを持てるように読み取ることができる。

#### (3) 研究仮説に沿った授業設計の視点

視点ア 生徒の表現する力を高めるための基本的な語彙・文構造の定着につながる帯活動を行う。

(☆：言語活動)

視点イ デジタルとアナログのそれぞれの特性を生かしながら、生徒の表現する力が高まるような題材や文脈の提示を行う。(◎：ICT活用)

視点ウ 理解した内容に対して、自らの体験や考えなどを新出や既習の言語材料を用いて表現できるような発問を設定する。(☆：言語活動)

#### (4) 評価規準と生徒の姿

観点	評価規準	生徒の姿
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	理解したことをもとに、間違ふことを恐れず積極的に自分の考えなどを話したり書いたりすることができる。	自分の考えを短時間で話したり、書いたりしている。
外国語表現の能力	電子辞書と紙の辞書の利便性を理解した上で、それらに対する自分の意見や考えを表現することができる。	本文の内容に関する記述及び賛否の理由や自分の意見について、5～7文程度の英文で表現している。
外国語理解の能力	課全体の内容について、自分の意見や考えをもてるように読み取っている。	本文の事実に関する問いや、自分の考えを尋ねる問いを、適切に理解している。
言語や文化についての知識・理解		

(5) 授業の展開

(☆: 言語活動, ◎: ICT活用)

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	仮説実証の視点
導入	10分	一斉	1 あいさつをする。	・ 明るい雰囲気です授業を始められるようにする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>視点ア</b>                      ☆ 短時間で相手と英問英答を行わせる。                 </div>
		ペア	2 帯活動 I (Q & A) に取り組む。	・ ペアで帯活動 I (Q & A) に取り組ませる。	
		一斉	3 ラインゲームに取り組む。	・ Q & A をもとに質問に答えさせる。	
		一斉	4 本時の目標を確認する。	・ 前時までの学習内容をふまえながら、目標を提示し、確認させる。	
			目標 : Junior high school students should use printed dictionaries when they study. に対する自分の考えをまとめよう。		
展開	35分	一斉	5 教師とのインタラクションによって課全体の内容を確認し、それについての質問に英語や日本語で答える。	・ アナログ・デジタル教材を用いて内容を確認させ、内容理解に関わる質問に答えさせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>視点イ</b>                      ◎ フラッシュカードや画像等を用いて、生徒の興味や学習意欲をもたせる。                      ◎ 賛否の立場での意見を、イラストを用いて表現させる。                 </div>
		グループ	6 これまでの帯活動 II をふまえ課の内容理解に基づいて、賛否の立場での意見を、イラストを用いながら表現する。	・ 前時までの内容理解に基づき、イラストを用いながら賛否の立場の理由を述べさせる。	
		一斉	7 Junior high school students should use printed dictionaries when they study. に対する自分の考えのまとめ方を確認する。(反応例)	・ 自分の考えを英文でまとめる際に、どのような表現を使ったらよいかを確認させる。	
			・ 自分の立場を述べる。 ・ その理由を述べる。 ・ 意見をまとめる。	賛成・反対の立場を明らかにしながら意見を述べるには、どのようにしてまとめたら、相手に伝わりやすいでしょうか。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>視点ウ</b>                      ☆ 場面や状況を判断させ、自分の意見を表現させる発問を行う。                 </div>
個別	8 Junior high school students should use printed dictionaries when they study. に対する自分の考えを英文で書く。	・ 前時までのワークシートや教科書の英文をもとに、自分の考えを英文でまとめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>視点ウ</b>                      ☆ 理解した内容をもとに、自分の意見をまとめるにはどうしたらよいか考えさせる。                 </div>		
			【モデル】 【賛成の立場】 I think so, too. These are my reasons. First, we can get a lot of information by reading dictionaries. Second, we have to choose the right meaning. It's easier to find it in printed dictionaries. So, junior high school students should use printed dictionaries when they study. 【反対の立場】 I don't think so. These are my reasons. First, electronic dictionaries are lighter and easier to carry. Second, I think that finding words in printed dictionaries takes time. In my opinion, junior high school students should not use printed dictionaries when they study.	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【到達目標】</b>                      ・ 自分の立場を明確にしている。                      ・ 理由付けをしている。                      ・ 自分の意見や考えを示している。                      ・ 5文以上で表現している。                 </div>	

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	仮説実証の視点
展開		一斉	9 自分の意見を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文を示しながら，発表させる。</li> </ul>	
終末	5分	一斉	10 本時の学習内容を確認する。 11 次時の学習内容を知る。 12 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時で学習したことを生徒が自分の言葉で説明できるようにさせる。</li> <li>本時で学んだ表現をもとに，次時においてさらに英文で表現できるように意識付ける。</li> <li>元気よくあいさつさせる。</li> </ul>	

#### (6) 検証の方法

視点ア 生徒の課題への取組や発表の様子を観察する。

視点イ 表現活動を意欲的に行うためにデジタル・アナログ教材を活用し，生徒が表現活動を意欲的に行ったり，理解力を高めたりするのに効果的であったか，イラストを用いて自分の意見を表現しているかを観察する。

視点ウ 意見を述べる表現形式を用いて，自分の考えを書いているか，ワークシート等で確認する。